

**平成27年 春の叙勲で瑞宝双光章に社会福祉功労で  
元特別養護老人ホームときわ寮川辺園総括主任介護  
員の下垣まち子さんが受章されました。**

昭和57年5月のときわ寮川辺園開園と同時に寮母として勤務。昨年3月まで32年にわたり、川辺園とときわ寮の両施設で利用者の介護支援、生活支援など高齢者福祉に尽くした。

食事や入浴、排泄にいたるまで利用者の生活全般をサポートするのが仕事。「より快適に、より安心・安全に生活していただく」をモットーに、常に献身的な態度で利用者の介護と健康維持に努めた。介護度の重い利用者が大半占める特養では、利用者との意思疎通が困難だが、「根気のよい対応」と細心の配慮を心がけ優しい声かけと身振り手振りの会話、積極的なスキンシップとコミュニケーションで家庭的な場を提供し続けた。

新しい利用者への対応についてそれぞれのニーズを把握し、楽しく有意義に過ごしてもらえるよう尽力。これら豊富な知識と経験を生かした介護ぶりは利用者やその家族からも厚い信頼を集めた。

23年7月には川辺園で介護スタッフをまとめるリーダー、総括主任介護員に就任。各種相談や対応に追われながらも、後輩の指導や育成に力を注ぎ、職員のスキルアップや施設運営の面でも貢献した。

受章には「ただただ驚いています。根気のいる仕事で、負けそうになったり、くじけそうになることもありましたが、家族の支えや同僚など多くの方々の協力のおかげでこれまでやってこれました。感謝の気持ちでいっぱいです。」と話している。

日高新報の記事より

居住地の日高川町の市木町長様 管理者の美浜町の森下町長様へ受章の報告

